

# 「専守防衛」からの逸脱

## 自由で開かれたインド太平洋戦略

### 安倍首相により打ち出された戦略

2016年8月にケニアで開いたアフリカ開発会議(TICAD)で安倍晋三首相が打ち出した外交戦略。「インド洋及び太平洋に法の支配、航行の自由、自由貿易が普及しなければならない」と主張。中国へのけん制の狙いがあるといわれている。

トランプ大統領が今年5月に日本を「国賓訪問」した際には、安倍首相と「自由で開かれたインド洋(FOIP)」のワードを共有。海上自衛隊は、17年以降、米国以外に英国、フランス、インドなどと演習。2018年、2019年と海上自衛隊は護衛艦をインド洋に送り演習。インドやスリランカの海軍とも合同訓練。米国は2018年、横須賀基地の太平洋司令部をインド太平洋司令部へと改編し、強襲揚陸艦「アメリカ」ステルス揚陸艦「ニューオリンズ」の配備を発表。



### くりかえされる自衛隊によるインド太平洋方面派遣訓練の実施

★2018年8月26日～10月30日

かが、いなづま、すずつき 総員800名

インド、インドネシア、スリランカ、シンガポール、フィリピン訪問

米空母「ドナルド・レーガン」と南シナ海で共同訓練、英海軍とも共同訓練

護衛艦かががインド洋で、スリランカ軍、インド軍と初の合同訓練を行い、中国がインド洋での海洋進出を強める中、沿岸諸国との連携強化をアピールした。訓練には、米海軍第7艦隊の将校もかがに乗り込み連携を確認したほか、海上でかが人が出たという想定で捜索救難の訓練も行った。

かがは9月30日、護衛艦いなづまとともにスリランカのコロombo港に寄港したあと、インド洋沖でスリランカ海軍との合同訓練を行ったのちかがは7日にインド海軍と合流した。10日間ほどインド洋で訓練を行う。潜水艦の追跡や砲撃など戦術面での連携を確認。

★2019年4月30～7月10日)

いずも、むらさめ、あけぼの 総員800名

ブルネイ、マレーシア、フィリピン、シンガポール、ベトナム訪問

★2018年12月7日太平洋の島嶼国に自衛隊機を派遣。現地との交流を進める。安倍首相が掲げる「自由で開かれたインド太平洋」構想に沿ったもので、太平洋諸国への中国の活発な進出をけん制する狙いがある。

米軍との空輸戦術訓練のために米アリゾナ州に向かう途中のC-130が、7日にマーシャル諸島の首都マジュロに立ち寄り、日本の民間活動団体(NGO)が現地に寄付する車いすやスポーツ用品などを輸送した。